

<先週の指標の動き>

指標名	数値	コメント
8月全国消費者物価指数 (9/24) 総合 生鮮食品を除く総合 生鮮食品及びエネルギーを除く総合	前年比▲0.4% (▲0.3%) 前年比±0.0% (▲0.2%) 前年比▲0.5% (▲0.6%)	8月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年比+0.0%と13ヵ月ぶりにマイナス圏から回復。携帯電話通信料の下落が下押ししたものの、原油価格の上昇によりガソリン価格の高い伸びが続いたほか、前年のGOTOトラベルの反動で宿泊料が大幅に上昇したことなどが全体の押し上げに寄与。
8月全国百貨店売上高 (9/24) 店舗調整後	前年比▲11.7% (+4.2%)	8月の全国百貨店売上高(店舗調整後)は、前年比▲11.7%と2ヵ月ぶりの減少。新型コロナ感染拡大に伴い、緊急事態宣言が延長されたことによる外出自粛や、入場制限の実施などが影響。
8月チェーンストア売上高 (9/24) 店舗調整後	前年比▲0.1% (+4.6%)	8月のチェーンストア売上高(店舗調整後)は、前年比▲0.1%と小幅ながら6ヵ月ぶりの減少。部門別にみると、内食需要の高まりから食料品は同+2.4%と増加したものの、天候不順などの影響から衣料品が同▲18.8%と大幅に減少したほか、住関連品も同▲3.3%とマイナスに寄与。

※ () は前月の前年比

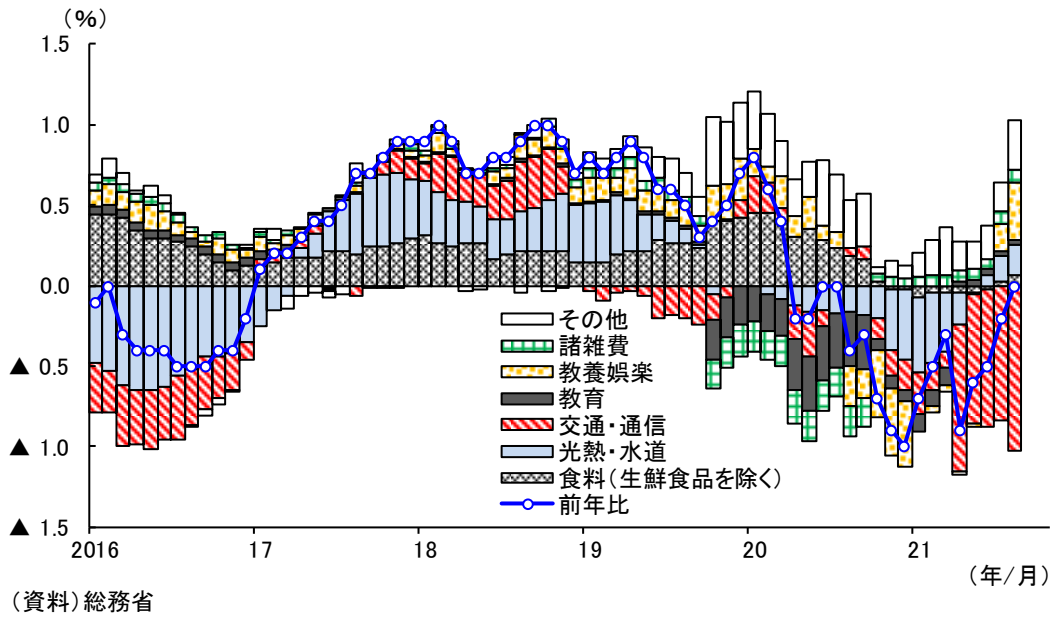
<国内景気の現状判断と当面の見通し>

(1) 国内景気の現状判断 わが国経済は、一進一退の状況。輸出は、中国経済のペースダウンや米国向けの自動車の下振れなどを受けて増勢が一般。個人消費は、新型コロナ感染拡大防止による活動制限が続くなかで、増加と減少を繰り返す動き。
(2) 当面の見通し 先行きを展望すると、海外経済の回復を背景とする輸出の増加や設備投資の持ち直しが景気を下支えする見通し。新型コロナの新規感染者数が減少に転じるなか、高齢者以外へのワクチン接種も着実に進んでいることから、政府の活動制限の緩和が本格的に着手されれば、個人消費も回復が明確化する見通し。

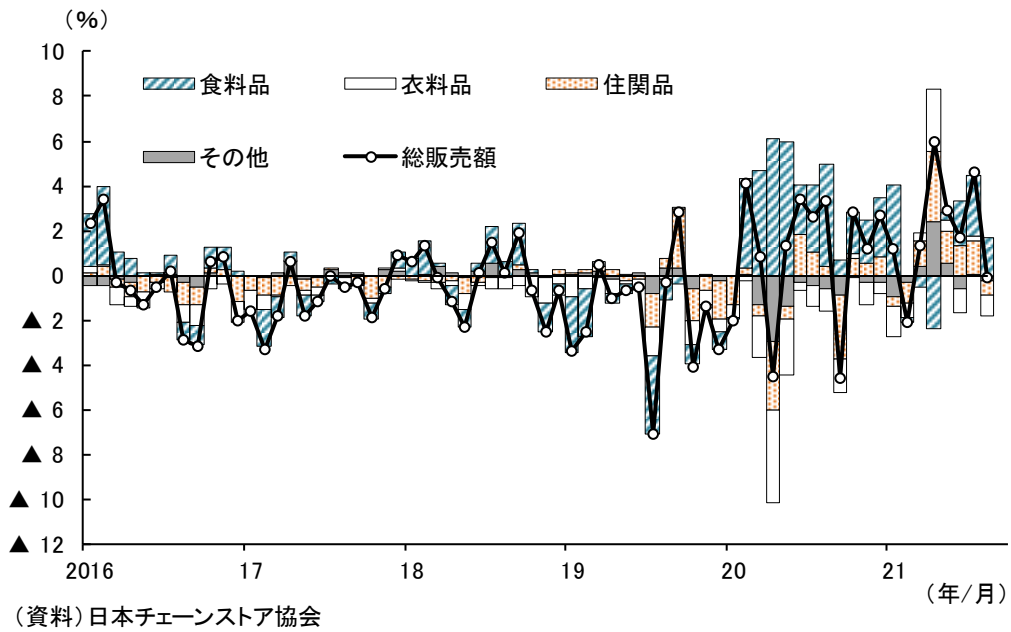
<当面の国内主要経済指標等のスケジュール>

月日	指標名等	発表機関
9/30 (木)	8月 鉱工業指数 8月 住宅着工統計 8月 商業動態統計	経済産業省 国土交通省 経済産業省
10/1 (金)	9月 日銀短観 9月 新車販売台数 8月 労働力調査・一般職業紹介状況	日本銀行 日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会 総務省・厚生労働省

(図表1) 全国消費者物価指数(生鮮食品を除く総合、前年比)



(図表2) チェーンストア売上高(前年比)



本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

